

肥満による ワンちゃんの寿命へのリスクとは？



「愛するワンちゃんと一分一秒でも長く一緒に暮らしたい」そう考えるのは飼い主さんにとっては自然なことですね。

長生きには適切な健康管理が大切ですが、最近「肥満」がその寿命に大きな影響を与えることが明らかになってきました。



肥満が寿命に与える影響

肥満の犬と正常な体型の犬の寿命を 12 犬種別(50,787 頭の去勢オスと避妊メスを対象)に調査したデータがあります。

下表は正常な体型の犬と肥満犬との寿命を雌雄別に比較したもので、当院で特に受診数の多い犬種をピックアップしました。

犬種	正常犬(オス)	肥満犬(オス)	正常犬(メス)	肥満犬(メス)
ヨークシャーテリア	16.2	13.7	15.5	13.5
ミニチュアダックス	16.4	14.1	16.4	14.1
チワワ	16.0	13.9	16.1	14.0
ポメラニアン	15.5	13.7	15.5	13.6
シーズー	14.5	13.8	14.5	13.9
ビーグル	15.2	13.2	15.3	13.3
ゴールデンレトリバー	13.3	12.5	13.5	12.7
ラブラドルレトリバー	13.3	12.7	13.6	13.0

いずれの犬種においても**肥満犬の方が正常体型の犬と比べて寿命が短い**ことが分かります。特にシーズーを除く小型犬や、ビーグルでは肥満が寿命に与える影響は大きいようです。

日本では飼われているワンちゃんの約半数が肥満傾向にあると言われています。

肥満はさまざまな疾患の罹患リスクを増大させるだけでなく、死亡リスクも高まります。

特に中年齢期からはボディコンディションスコア(BCS)※などを用いて、適切な体型を管理していくことが大切です。

※動物の体型、特に脂肪のつき方を5段階に分けて、適正かどうかを評価する指標
(詳しくは別ページ「うちの子の適正体重ってどれくらい？」をご参照ください)



(出典「<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/full/10.1111/jvim.15367>」より)